

イギリス研修報告 No.3

7/29(月)

昨日はそれぞれのホストファミリーと1日過ごしました。本今朝、CES(語学学校)前で再会した時にはお互いに昨日したことや食べた物、ホストファミリーの優しさから不便に感じていることまで語り合っていました。たった1日ですが、とても濃密な1日だったことが伝わってきました。

ホストファミリーにオックスフォードを案内してもらったチーム、自力でシティまで出て散策したチーム、さらには高速バス(Oxford Coach)を調べ1時間半かけてロンドンまで足を伸ばしたチームもありました。初海外とは思えないほどの度胸と行動力には驚かされました。

9:00

今日から CES での授業が始まります。

まずはプレースメントテスト(クラス分けのための英語力診断テスト)を受けました。

11:00

校舎の外に集合し、名前を呼ばれた生徒から教室に向かいます。



11:30

最初の授業を受けました。自己紹介をし合ったクラス、いきなり technology についてディスカッションしたクラス、外でアクティブなレッスンをしたクラス様々でした。



13:30

昼食を終え、午後のアクティビティ開始です。バスに乗り、20分ほどかけてオックスフォードシティに行きます。初日に引き続きエマと、同じくイタリア出身のアイリの2人がガイドしてくれました。オックスフォード大学のキャンパス(college)やマーケットを巡りました。



15:30

今日は現地解散です。ホストファミリーに帰宅予定時間を伝え、各自散策に出かけました。夕食をそのままオックスフォードセンター街で食べるチームもありました。



本場の Fish & chips は格別だったようです。

ホームステイ初日を終えて、

- ・事前に聞いていたホストと違ったチーム
- ・準備されるはずの昼食がもらえなかったチーム
- ・登校時、バスの乗り換えがうまくいかなかったチーム
- ・ホストファミリーと一緒に生活ができず距離を縮められないチーム

色々です。うまく進んでいるチームの方が珍しい状況です。こちらが間に入って解決しなければいけないトラブルもあります。それについては CES から各ホストに連絡してもらい、状況を確認しているところです。一方、ファミリーとのコミュニケーションで改善できそうな問題や、日本との違いを受け入れることで生活できそうなものもあります。自分たちの思いを言葉にすること、日本の当たり前を世界の当たり前と思わないことの重要性を感じています。

(文責 鈴木)